

平成27年6月13日 子ども電波教室 於) 福岡市少年科学文化会館

6月13日(土)福岡市少年科学文化会館において、JARL福岡県支部と電波適正利用推進員協議会の連携で子ども電波教室を開催致しました。既に北九州・筑豊地区では電波教室の連携開催が実施されていましたが、福岡地区では初めての取り組みでした。

電波教室の教材やグッズは総務省傘下の全国電波適正利用推進員協議会より提供を受け、支部では製作指導を手伝っています。

以下、今回の実施状況を紹介します。 先ず、開催に先立ち、鉄屋義彦少年科学文化会館館長および大津山係長、田中久生指導員に挨拶の後、啓発リーフレット、半田付け不要ラジオキット、組立説明書、グッズ等の袋詰めを行いました。(廣田、百崎、佐々木)

13時10分より受付開始(田中指導員)、13時30分より電波教室の実施説明(佐々木)、水尾協議会会長挨拶、推進員の自己紹介を行い、楽しい電波教室DVDを上映しました。続いて、配布資料や組み立て部品等の過不足をチェックしたのち、組み立て説明書に沿って組み立てを開始しました。概ね、低学年は家族同伴ですが、子どもひとりの参加には推進員の積極的な指導が必要で、全員が完成するのに約1時間必要でした。ラジオの聞こえない子が2名おりましたので、予備の聞こえるラジオを渡しましたが、調べると部品の接触不良が原因だったようです。

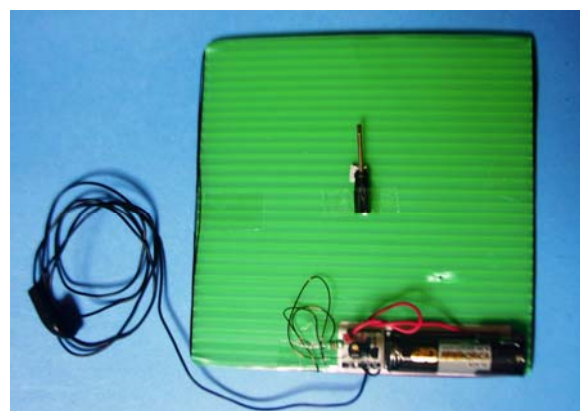
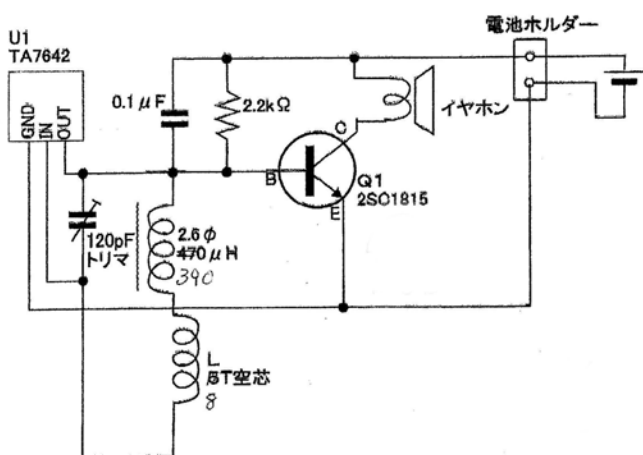
会館の発表によると、今回は100名以上の応募があり、抽選で25名にしぼりましたが、「電波教室」「ラジオをつくろう」は毎回好評で、増員の希望もあるようです。

協議会シンボル、電波君の「楽しい電波教室」DVD、ゲゲゲの鬼太郎リーフレット、同ポスターは子どもに喜ばれ、家族の方も電波利用にルールがあることや免許制度について理解されたようです。

「自作ラジオ」に喜ぶ子ども達に会館職員も感激され、我々もやりがいを感じています。

近年、少年達の理科ばなれが危惧され、学際的に科学を目指す子どもたちを応援する取り組みがされていますので、我々も大いに協力しようではありませんか。

JARL福岡県支部幹事・電波適正利用推進員協議会幹事 JA6ACZ 佐々木正文



完成した半田付け不要ラジオ

緑色の下敷き様枠にエナメル線を8回巻いてアンテナ・コイルとし、中央のドライバーでミゼットバリコンを回転して同調をとります。

